

## 第3学年 社会科の実践

1 単元名 「わたしたちのまちと市」 (全21時間 本時15時間目)

2 単元目標

### 単元目標

- 身近な市の様子を大まかに理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけることができる。
- 身近な市の場所による違い、人々の生活との関連などを与え、考えたことを表現することができる。
- 身近な市について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができる。

3 「ひびき合う三の丸の子どもたち」にせまるために

研究課題 「子どもが解決したい問題をもち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成」  
手だて・・・子どもの思いや願いを見とった単元構想と授業づくり  
ブロックテーマ・・・「追究する力、仲間と支え合う自分」  
・自分の問題をとことん追究する姿  
・仲間と協働して追究する姿

〈これまでの関わり合い・ひびき合い〉

学習の様々な場面で、「これもっと調べてみたいな」や相手の意見と比べてみて自分はどう思ったのか話す場面がみられる。

道徳の学習では、全員が学習に参加できるように、自分の立場を名前マグネットで明確にし、理由を伝える活動を取り入れている。意見が一通り見えるので、発表の時に「〇〇さんの考えに似ています」や自分以外の相手と比べることができた。

しかし、話し合いをする仕方が分かっていなくて話し合いが上手く進まないこともあった。そこで、少人数での話し合い、意図的なグループ構成、考える時間の確保、伝え合いの手順を示し、全員が話し合いに参加し、自分事として課題を解決できるようにしていきたい。また、「できることからやってみるという前向きな気持ち」と「自分や仲間の気づきや疑問を共有し、みんなで考えを出し合える雰囲気づくり」を大切に進めていきたい。そして、「仲間との伝え合い活動を通して、自分の考えを広げ深める」というひびき合える姿を目指したい。

本単元は社会科であり、町探検に行って調べた経験が共通の土台として話し合いをしたり、友だちと考えを出し合ったりして進められるようにしていきたい。

## 〈単元について〉

本単元は、次の学習指導要領の内容を受けている。

内容（１）「身近な地域や市区町村の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」

ア 次の知識及び技能を身に付けること

（ア） 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること

（イ） 観察・調査したり地図名などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次の思考力、判断力、表現力等を身に付けること

（ア） 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え表現すること

本単元では、身近な地域や市の様子を探検や調査活動を通して、課題を追究・解決し、自分が住んでいる町や市の特徴を知り、地形を生かしたよさに気づき、まとめることができることがねらいとしている。

小単元「まちの様子」で町探検を行い、自分たちが住んでいる身近な地域や自分たちが通う学校の周辺地域とは様子の違うところが市内には存在する。このことに気付くことによって、市全体の様子に興味をもち、その違いを「市の地形と土地利用」「交通の様子」「小田原の歴史を伝えるもの」「市にある公共施設」に着目して比較する。本単元では、市全体へと広がるため、実際に見学できないところは、調べ活動や地図や資料を活用する必要が生じる。そのため、地図や資料の読み取り方を身につけたり、読み取ったことから複数の条件と関連付けて考えたりすることができる機会となる。そして、身近な地域や市の様子をとらえ、地域の違いを表現するという資質・能力を高めることを目指して、各地域の特色を地図にまとめていく学習が有効と考え設定した。また、調べ活動を通して、小田原市のよさや魅力を発見し、地域への誇りと愛情をもつことができると考える。

## 4 単元と指導について

### 〈指導について〉

導入で、町探検と小田原城の天守閣から四方位で町の様子を観察し、違いや特徴に気づいたり、よく分からない場所や遠くに見えるものは何か疑問をもったりする。天守閣から見た風景から山・川・海の自然に恵まれているということに気づき、もっと自分が住んでいる小田原市について興味をもたせる。山・川・海の特徴と各地域の土地の利用を関連させ、市の地形と土地利用に生かしていることに気づかせる。土地利用の気づきから交通の様子、公共施設について関連づけて考えられるようにする。また、小田原の歴史を伝えるものを調べることを通して、小田原宿で宿泊する人のために土産物が多くあり、今でも伝統を引き継ぎ売られていることにも気づくことができる。そして、総合「小田原土産を考えよう！」に発展させ、本単元で作成する「小田原紹介マップ」を生かしていきたい。

本時で児童が解決したい学習課題は、「なぜ、小田原には、かまぼこやさんがいっぱいあるの？」である。自分たちが住んでいる三の丸小周辺には、かまぼこ通りやお店がたくさんあることは知っているが、どうして小田原にかまぼこ屋さんがいっぱいあるのか知らない。調べ活動では、地図や資料（わたしたちの小田原など）、コスモスの本を使って根拠を話せるように、ノートにメモしたり「発見！カード」に書いたりできるようにする。

本時展開の伝え合いの場面では、一部の児童で話し合いが進む学級の実態を踏まえ、次のような手立てをとっていく。

1 つ目は、2段階の場の設定である。【ステージ1：グループで自分の考えを伝える。】「発見！カード」に書いたことをグループで全員が発表して、自分の考えを意思表示できるようにする。その際、考えの根拠も合わせて伝えることや友達の考えを聴くことで、ものの見方がより広く深くなることを実感できると考える。【ステ

ージ2：他のグループをまわる。】「さらに発見タイム」で相違点を見つける。他のグループの考えをじっくり見てメモする時間と関わり合う時間をお互いに確保できる。他のグループをまわることで、関わりながら学ぶことの面白さに気づかせたい。

2つ目は、「伝え合いのメニュー（手順）」の提示である。「伝え合いのメニュー」の中に、相違点を見つけるだけの一方通行になってしまわないように、関わり合うためのアイテムとして、「〇〇さんが言いたいことは、こういうこと？」「〇〇さんはどう思うの？」「くわしく教えて。」「もう一回言って。」「つけたして言うと」「〇〇さんは～と考えたのかな。」などの言葉を提示しておく。関わり合いがあまりできていない場合、教師の出どころとして、関わり合いの言葉を声かけする。

全体で共有する場面では、分かったことを発表させ、児童の言葉を整理して板書することで、教師の出どころとして、学習課題から学習のまとめへ焦点化していく。本時は「市の地形と土地利用」のまとめなので、それぞれの地区で魅力があるだけでなく、地形を生かしていることにも気づかせていく。

本時では、仲間との伝え合い活動を通して、自分の考えを広げ深めていく姿をひびき合いの姿とし、ブロックテーマ「仲間と支え合う自分」を高めていきたい。

# 5 単元構想

## 単元目標

- 身近な市の様子を大まかに理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけることができる。
- 身近な市の場所による違い、人々の生活との関連などを与え、考えたことを表現することができる。
- 身近な市について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができる。

総合的な学習の時間との関連 社会科

### 小田原といえど？（マッピング）

- ・みかん・梅・梅もぎ
- ・魚・かまぼこ・干物
- ・小田原城・忍者・北条氏など

### 2年生のまちたんけんをふりかえろう①

理科で春の生き物を探して慰霊塔（城山公園）にいったよ！！

- ・コースごとに回ってみてきたから学校の周りは知ってるよ！！
- ・あれ？どこに何があるか全然覚えてないよ…
- ・三の丸ホールは学校より右側だよ！！ ・自分のお家はどの辺だよ。（指をさす）
- ・神社がこの辺にあるよね。二宮神社？
- ・え、違うよ。松原神社だよ。二宮神社は学校より下のほうだったよ。
- ・そうだった？どっちだ？ ・全然説明できないよ。 ・方位を使うと説明しやすいな。
- ・地図のように学区を上から見てみたいよ。 ・まものことをもっと調べたい！

### わたしたちのまちのことを知ろう！②③④⑤⑥⑦⑧

#### まちたんけんのルートをかくにんしよう②

身体を動かしながら方位の名前や方向をたしかめることができる。（知・技）

- ・最初は黄色やピンクコースに行きたいな。 ・まっちはぼくの家があるよ！！
- ・でもさ、建物の場所をメモするのに東西南北がわからないよ。どうしよう。
- ・方位磁針があるとわかりやすいね。青いところが北なんだね！
- ・東西南北応援団で分からないときにつかえるといいな。

方位磁針の使い方を学習することで、まちたんけんの方角を確かめられるようにする。

#### 黄色・ピンクコースの様子を調べよう（まちたんけん）③④

- 【国道一号线】車がたくさん通っていたね。病院や消防署、郵便局もあったね。金次郎カフェもあったよ。かまぼこ通りにはかまぼこ屋さんがたくさんあったよ。なりわい交流館で休憩したね。
- 【西海子通り】お店が少ないね。静かでお家がたくさんあるよ。文字館もあったよ。
- 【青物町横丁】小さなお店がたくさん並んでいるね。シャッターが閉まっているお店が多かったな…。人も少なくてさみしい感じがしたよ。
- ・もう書くスペースがないよ。・地図記号を使えば簡単に正しい場所にかけるんだね。

地図記号について理解することができる。（知・技）

#### 天守閣からまちの様子を調べよう⑤⑥

- ・南には海が広がっているね。西湘バイパスもあるよ。
- ・北には遠く山が見えるね。近くには小田原駅が見えるよ。あれは何様かな？
- ・北はお店がたくさんあるね。ミナカも見えるね。
- ・西には山がたくさんあるね。城山中学校や相洋高校もみえたよ。建物が少ないね。
- ・東はお家などの建物がたくさんあるね。遠くに江の島が見えたよ。
- ・方位によって建物や人の多さ、自然が全然違うね。・次は北の駅のほうの様子を調べたいな。

地図記号や前回のまちたんけんの経験をもとに、まちの様子について理解することができる。（知・技）

#### 赤・青コースの様子を調べよう（まちたんけん）⑤⑥

- 【お堀廻り】- 観光客がいたね。・裁判所や郵便局が見えたよ。
- 【小田原駅】- 平日の朝なのに人がたくさんいるね。・小田急線や箱根登山線もあるね。・新幹線も通っているよ。
- ・わあ！大きな提灯があるね！ここは東海道線だね！ ・大雄山線の改札に大きな天狗がいたよ。
- 【駅前】- お土産屋さんがあるね。・鈴廣・龍清など、かまぼこさんがたくさんあるね。
- ・いいにおいがするなあ。なんの匂いだらう。 ・さつま揚げがうっているよ。かまぼこ屋さんで作っているんだね。
- ・UMECOがあるね。市民活動センターって書いてあるよ。 ・ここでイベントをやっているのを見たことがあるよ！
- ・バスやタクシーがたくさんまわっているね。
- ・平日に比べて人が少なかったよ。土日は外国人がたくさんいるもん！
- ・小田原駅の周りは国道や青物町商店街よりも人が多かったね。どうしてだろう？
- ・駅の中にもお店がたくさんあったよ。なんでかな？お土産を買っているのかな？ 何を買っているんだろう？
- ・どうして駅の中にお店があるの？
- ・電車やバスに遅れずにお買い物ができるからじゃない？ ・おまづぶしだよ。
- ・観光客が小田原でしか買えないものを求めていくんだよ。・小田原でしか買えないものってなんだ？
- ・箱根のお菓子？ ・全体かまぼこや干物だよ！！ ・おみくじ・小田原（？）・小田原塔・小田原城キナーホルダー
- ・小田原の名物ってなんだろう？

方位磁針の使い方を学習することで、まちたんけんの方角を確かめられるようにする。

③

小田原市にはどんなお土産があるのかな？⑧ 小田原の名物は何だろう？⑧

・かまぼこや干物がたくさんあるね。どうして人気なんだろう？かまぼこや干物に使われる魚はどことってどう作っているのかな？  
 ・片浦レモンや湘南ゴールドを使ったケーキやジュースも人気があるみたい。・片浦レモンや湘南ゴールドってどこでとれるんだろう？  
 ・曾我の梅を使ったお菓子も有名みたいだよ。曾我ってどこ？ 相田ってどこだろう？  
 ・寄木細工や小田原漆器も人気みたい。・地図をみたら場所がわかるかな？  
 ・曾我産がたくさんあったな。・湘南ゴールドとレモンってなんか似てるな。  
 ・小田原のものって色々な場所で作っているんだね。  
 ・神奈川県のためねぎを使っている。  
 ・早川や根府川、曾我は小田原の中なの？外なの？

児童にとって身近にあるかまぼこや干物ではなく、早川や曾我、片浦、下中などの産地が明確になっているお土産の実物を提示し、興味・関心を引き出す。

小田原市内のお土産を提示し、地名に注目が行くようにすることで、地図で調べる必要性を引き出す。

地図で調べてみよう！ 早川や根府川、曾我などは小田原の外？中？⑨

小田原市について関心をもち、学習課題を作る。(表現)

小田原市の地図の地図記号や土地の使われ方から、気づいたことや気になることをワークシートにまとめることができる。

小田原市の地図の地図記号や土地の使われ方から、気づいたことや気になることをノートにまとめることができる。(表現)

・小田原市ってこんなに広いんだね！！ ・ワニみたいな形をしているよ。  
 ・いろいろな市に食べ物がある。・工場がいっぱいある。  
 ・小田原のはしからはしまで新幹線が通っている。・え！！果樹園だらけじゃん！！ ・本当だ！  
 ・曾我あったよ。周りが曾我だらけだ！ 梅の里もあるよ！ だから梅のマークがたくさんあるんだね！  
 ・下中は玉ねぎがいっぱいある。近くに玉ねぎのマークがあるよ！  
 【地図をみて気になること・気づいたこと】  
 ・外側に果樹園がたくさんあるね。地図を見ると高いところになんでレモンやみかんや梅の果樹園がたくさんあるのかな？  
 ・小田原駅に電車や大きい道路が集まっているね。  
 ・線路は南から北に行ってるよ。東のほうにも通っているね。・インターチェンジがいっぱいあるよ。  
 ・川の近くには田んぼが多いよ。  
 ・どうして駅の周りに図書館やUMECO、市役所や警察署などの公共施設が集まっているのかな？  
 ・かまぼこ通りは海の近くにあるね。早川漁港もあるよわ。 ・どうしてかまぼこや干物を作っているんだろう？  
 ・道路や海や川の近くに小田原アリーナの近くに工場がたくさんあるのはどうしてだろう？  
 ・かまぼこのマークが一箇所しかない！！！！  
 ・かまぼこが少くないよ！  
 ・かまぼこよりも梅やみかんの方が名物なんじゃないの？？  
 ・いやいや、かまぼこや干物の方が名物だよ。  
 ・マーマーも梅やみかんよりも大きいし。  
 ・お土産屋さんでもかまぼこの場所が一番多かったじゃん。

「多い・少ない」「同じところ・違うところ」「～と比べて」などから、気づきの視点を示す。

小田原市のことをもっと知りたいな⑩～⑪

・小田原市はどんな形をしているのかな。・トレーシングペーパーで市の形をうつしてみよう。⑩  
 ・犬みたいな形だね。・東京にのびてるね  
 ・ゴジラ・ピストル・カバ・馬

これまでの学習で得た知識やまちたんけんの経験、生活経験などを根拠に予想を立てることができる。(表現)

どうして果樹園が多いのかな？

「市の地形と土地利用」

なぜ、市の外側(山側)に果樹園が多いのかな？⑩⑪

・市の外側は久野、片浦、早川、曾我だね。・高いところがあると日当たりもよさそう。  
 ・斜面だとみかんの木が重ならないから光があびやすい。・果樹は水はけがよいほうが育つ。  
 ・石垣や海からの光が反射して育つよ。・山の高い所じゃなくて少し高い 200～400mのところは果樹園が多い。  
 ・みかんはすぐに水が流れる  
 ・太陽が当たる場所

資料をもとにわかったことを根拠に捨て、分かったことや考えたことをまとめることができる。(表現)

### なぜ、小田原にはかまぼこやさんがいっぱいあるの？⑬⑭⑮(本時)

- 魚がとれるからだよ。特に、シログチ(かまぼこや干物の原料)干物を干すのに、海の近くがいい。
- とれた魚を新鮮なうちにかまぼこにできる。
- 町たんけんでかまぼこ屋がたくさんあった。
- 川と海はつながっているけど、川では、かまぼこや干物の魚とれないよ。
- 酒匂川の近くは、田んぼや工場の地図記号が多いよ。
- 魚がおいしいから。
- 地下水が使われているから。
- 地下水には、ミネラルが含まれていると鈴養が出ているかまぼこのひみつに書いてあったよ。

初めて、資料から読み取る活動をするため、グループで協力して調べられるようにする。

調べる活動では、市のホームページから抜粋した資料や本、「わたしたちの小田原」を提示する。

また、家の人に聞くためにはどんなことが必要かを確認する。

### なぜ、川の近くに田んぼや工場が多いのかな？⑯⑰⑱

#### 【予想】

- 田んぼには水がたくさん必要だからかな。
- 田んぼには新鮮な水がないとおいしいお米ができないからかな。
- 水道の水だけじゃ足りないから。

#### 【わかったこと】

- 川には水道水にはない天然の栄養がたくさんあるんだね！ 森から栄養をもらっているんだ！
- 畑の土は栄養が少なくて毎回耕したり栄養を入れなといけないう。
- でも、水があることで、雑草も生えにくい。水が常に流れるから何度もお米を育てられる。
- 余分な栄養は川で流される。 - 洪水を防ぐこともできるんだね。
- 工場の近くに川があるのは、たくさんのお水を使うから。

小田原市における川周辺の土地の使い方について理解することができる。(知識)

小田原市における川の近くの土地の使い方について理解することができる。(知識)

初めて、「わかったこと」から「考えたこと」を考えさせるため、まちたんけんなどの学習や生活経験を根拠に「人の生活」という視点で考えを持たせるようにする。グループで資料やわかったことを持ち寄って話し合う。

### どうして線路や道路がいっぱいあるのだろう？⑲⑳㉑

- まちたんけんに行ったとき、大塚山線、東海道線、東海道新幹線、小田急線、箱根登山線があったよ。
- おうちの人は、お仕事に行くのに東海道線をつかっているよ。東海道新幹線で東京に行っているよ。
- 小田原にたくさんのお客さんが住んでいるから交通の方法がたくさんありそう。
- 小田原から色々な所に行けるようになるため

#### 【予想】

- お仕事にいくため - お出かけや観光につかうため。

#### 【わかったこと】

- 小田原に住んでいる人がたくさんいてお仕事している場所がそれぞれ便利に行けるため。
- 東海道線や小田急線は、東京や横浜につながっていて、通勤に使うことが多い。
- 箱根登山線は箱根に観光に行く人がたくさん来るね。
- 大塚山線の先には最乗寺というお寺があるね。古くからある建物を見に来る人もいるんだね。
- 京都や大阪、東京に行く人は新幹線を使っているね。
- ロマンスカーは電車よりも早くいけるよ。

小田原市における交通の広がりについて理解することができる。(知識)

### 「小田原の歴史を伝えるもの」

### 古くからあるものはどんなものがあるかな？㉒㉓㉔

- 小田原城
- 報徳二宮神社
- かまぼこ通り
- ういろうが売っている場所は、小田原と同じ建物だよ。
- 町探検で文学館を見つけたよ。

#### 【わかったこと】

- 市役所や警察署もあるね。警察署や消防署は小田原市に住む人を守るためにあるんだね。

小田原市における古くから残る建造物の分布について理解することができる。(知識)

#### 【考えたこと】

- 小田原には、多くの古い建物がいっぱいある。

小田原市には、どれくらいの公共施設があるのかな？ ㊦㊧

- ・公共施設はみんなが使って、生活がしやすい施設のことだね。
- ・UMECOがあったよ。・駅の周りにあるね。
- ・ミナカの図書館もいったことがあるよ。ミナカ以外にも市立図書館もあるよ。
- ・可探検行った時に、公共施設がたくさんあったよ。

【わかったこと】

- ・市役所や警察署もあるね。警察署や消防署は小田原市に住む人を守るためにあるんだね。
- ・かまぼこには川東タウンセンターマロニエのように市役所のような場所もあるんだね。

【考えたこと】

- ・小田原市に住む人が行きやすいように駅の近くなどにあるんだね。
- ・警察署や消防署、市役所などないと小田原市に住む人がないと困ってしてしまうものが公共施設なんだね。

小田原市における市役所などの  
主な公共施設の場所と働きについて  
理解することができる。(知識)

自分たちにはできることはないかな？

- ・観光マップを作って観光客に使ってもらいたい。
- ・小田原の名物をもっと知りたい。

## 6 本時について

### 6. 本時について

本時目標 小田原市における海の近くの土地の使われ方について地形の様子と土地利用を関連付けて話し合うことができる。

学習活動	主な支援・留意点 ◆評価【観点】
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">問題：かまぼこやが海に近いとどんない所があるのか？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">グループで話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海が近いから</li> <li>・かまぼこのざいりょうとなるシログチを使えるから</li> <li>・とれたばかりの魚が使えるので、海に近いほうがべんり</li> <li>・他のちいさくらべるとミネラルが高い地下水を使っている</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">全体で話す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海が近いとしんせん魚がとれるからかまぼこやがたくさんありそう</li> <li>・しんせん魚を使っておいしいかまぼこをわたすことができる</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海が近いとしんせん</li> <li>・魚がたくさんとれる</li> <li>・べんり</li> <li>・地下水も使える</li> </ul> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で解決する問題は作り方や特徴ではなく、海に近い理由だということを確認することで、問題解決に必要な情報を選ぶことができるようにする。</li> <li>① グループでのひびき合い（20分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いで考えた考えを班ごとに比べたり分類したりできるようにする。</li> <li>・小田原にある理由を書く。</li> </ul> </li> <li>他の班の考えを見に行き、新たな考えに気づいたり、根拠が気になる考えを聞きに行ったりできるようにする。</li> <li>② 全体で交流（15分）</li> <li>★焦点化のポイント <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の近くにお店がある理由になっているか。</li> </ul> </li> <li>（本時の問題とすれてしまうものは、黒板の隅に書き、総合的な学習の時間の活動にいかす。）</li> <li>・これまでの山、川、海の地形について振り返り地形を生かした土地利用をしていることに気付かせる。</li> <li>◆小田原市における海の近くの土地の使われ方について地形の様子と土地利用を関連付けて話し合おうとしている。【思考・判断・表現】</li> <li>・小田原日記を書き、友だちの考えから思ったことや気になることなどを共有し、次の学習へつなげる。</li> </ul>

## 7 実践を終えて

### <成果と課題>

#### (1) 本時の様子

前時までにかまぼこについてわたしたちの小田原や本を使って調べてきた。めあてを直前に変更したため、少し混乱が生じてしまった。個人の考えで意見も活発に出ていたので、教師の出所として、児童のつぶやきをもっと取り上げていたら、より考えが広がっていったのではないかと思った。

#### (2) 授業後の実践

本時の授業後は「市の地形と土地利用」をもとに、「交通の様子」「小田原の歴史を伝えるもの」「市にある公共施設」について調べ学習を進めた。地図や資料の読み取り方を本時で学んだので、進んで調べる姿や資料を見て、関連する情報を見つける姿が見られた。

本単元を通して、「小田原に生まれて良かった」「小田原市には自然がたくさんあっていい場所だなと思った。」など、よさや魅力を発見していた。また、自分の住んでいる地域や学校の歴史についてもっと知りたいという気持ちが高まり、総合の学習につながり進められている。

#### (3) ブロックテーマとの関連、教師の出どころ（重点項目）

本時でのひびき合い「仲間との伝え合い活動を通して、自分の考えを広げ深めていく姿」についての成果は、全体共有の場面で「～さんに付け足しで」と友だちの考えにつなげながら、自分の考えを発表しようとする姿が見られたことである。

ひびき合うための手立てについては、伝え合いの場面をグループから全体へと2段階の場を設定したことで、自分の考えを友だちの考えと比較したり、進んで友だちの考えを知ろうとしたりする姿が見られた点がよかった。

ブロックテーマ「仲間と支え合う自分」については、グループの伝え合いで「～さんがこういうことを書いてあったよ。」「ここに書いてあったよ。」など、「関わりあうためのアイテム（言葉）」を提示したことで仲間と協働し問題を追究する姿が見られた。

課題としては、子どもたちの意見を教師がきちんと把握ができていなかったもので、そこは授業の進みに繋がるので、把握をしていなければいけなかった。

そのためには、子どもが考えた意見を事前にメモをして、全体共有で活かせるようにしていきたい。

